

パーク24 株主通信 2024

2024年10月期 第2四半期

2023年11月1日 - 2024年4月30日



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2024年10月期 上期業績

当社グループは、中期事業戦略として掲げる「4つのネットワーク(人・クルマ・街・駐車場)の拡大とシームレス化」のもと、2024年10月期(以下、`24期)においては「ネットワーク拡大の加速」と「サービス進化」を基本方針に掲げ、駐車場事業では収益基盤となる新規物件の開発、モビリティ事業ではタイムズカー車両・貸出拠点・会員数の拡大を図ると同時に、デジタル化の推進によるサービス利便性の向上などを進めています。

上期においては、駐車場事業国内およびモビリティ事業において旺盛な需要環境のもと、需要を確実に取り込む施策などの効果もあり、サービスの稼働が好調に推移しました。駐車場事業海外は一部の地域でサービスの稼働が想定を下回ったものの、他の地域については順調に推移しました。これらの結果、売上高1,758億円・営業利益166億円・経常利益149億円・親会社株主に帰属する四半期純利益90億円と計画を超過する実績となりました。

上期 業績ハイライト

	`23期 実績	`24期 実績	`24期 計画	計画差
売上高	1,570億円	1,758億円	1,700億円	+58億円
営業利益	150億円	166億円	155億円	+11億円
経常利益	114億円	149億円	135億円	+14億円
親・四半期純利益	79億円	90億円	85億円	+5億円

各事業の取り組み・業績

駐車場事業国内においては、厳選開発のノウハウを活かし、収益性を維持したままサービス規模の拡大を進めました。またサービス利便性の向上のための取り組みとして、車番認証カメラを活用した駐車場の拡大や、自社開発精算機であるタイムズタワーの設置拡大を図ることで、より簡単に出入庫や精算が可能な次世代駐車場サービスの展開を推進しました。この結果、タイムズパーキングは17,999件(前期末差+360件)、事業利益は167億円(計画差+7億円)となりました。

モビリティ事業においては、テレビCMを含む大規模プロモーションによるタイムズカーの認知度向上や、会員プログラムの刷新やアプリケーションにおけるユーザーインターフェースの整備による利便性向上、利用促進に向けたキャンペーン実施などにより需要を創出すると同時に、その需要に合わせた適切な増車、貸出拠点の開発を進めました。この結果、タイムズカーは64,363台(前期末差+4,316台)、事業利益97億円(計画差+8億円)となりました。

上期 事業別業績ハイライト

		`23期 実績	`24期 実績	`24期 計画	計画差
駐車場事業国内	売上高	791億円	856億円	824億円	+32億円
	事業利益	152億円	167億円	160億円	+7億円
モビリティ事業	売上高	455億円	520億円	507億円	+13億円
	事業利益	80億円	97億円	89億円	+8億円
駐車場事業海外	売上高	327億円	384億円	374億円	+10億円
	事業損益	▲0億円	▲3億円	1億円	▲4億円

駐車場事業海外においては、主要な展開地域のうち英国・アジアの駐車場は順調に稼働しましたが、豪州では主に都心部の稼働が想定を下回りました。また、英国・豪州では急速に進むインフレにより事業費用が増加しました。このような状況のもと当社グループは、各国版タイムズパーキング(国内の駐車場事業戦略をベースに各地域の需要環境に合わせた小型・短期契約駐車場)の開発を継続的に行い、大型かつ長期契約駐車場に偏った事業ポートフォリオの最適化を進めました。この結果、各国版タイムズパーキングは1,459件(前期末差+111件)、事業損失▲3億円(計画差▲4億円)となりました。

2024年10月期 通期見通し

`24期は下期においても、国内事業を中心にサービスの稼働は好調に推移することを見込んでいます。その中で当社グループは引き続き規模を拡大しつつサービスの利便性向上に取り組んでまいります。

駐車場事業国内はタイムズパーキング通期開発1,500件の達成を目指し

サービスネットワークの拡大

		`23期 期末	`24期 上期末	前期末差
タイムズパーキング	件数	17,639件	17,999件	+360件
	台数	576,262台	604,236台	+27,974台
タイムズカー	台数	60,047台	64,363台	+4,316台
	貸出拠点数	16,017箇所	18,091箇所	+2,074箇所
	会員数	2,423千人	2,693千人	+269千人
各国版タイムズパーキング	件数	1,348件	1,459件	+111件
	台数	52,598台	56,864台	+4,266台

ます(前期974件)。モビリティ事業はタイムズカー67,800台(前期末差+7,753台)まで増車しつつ、稼働を高める施策を継続的に行ってまいります。駐車場事業海外は稼働向上に向けた施策、収益最大化に向けた駐車料金調整などを進めると同時に、各国版タイムズパーキングの開発を進めてまいります。

これらを通じて`24期は期初に掲げた計画どおり売上高・各段階利益で過去最高の更新を目指します。株主還元についても、`24期配当は1株当たり5円を予想しています。

当社グループは今、好調な経営環境のもと、事業の筋肉質化を継続し、引き続き「攻め」の姿勢をもって確実に成長してまいります。これからも皆様のご期待にお応えできるよう、グループ一丸となって邁進してまいりますので、引き続きのご支援・ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

2024年7月

代表取締役社長 **西川 光一**

通期 業績予想

	`22期 実績	`23期 実績	`24期 計画	前期比
売上高	2,902億円	3,301億円	3,570億円	108.1%
営業利益	206億円	319億円	350億円	109.4%
経常利益	169億円	276億円	310億円	112.0%
親・当期純利益	24億円	175億円	200億円	114.0%
株主資本比率	17.2%	22.8%	30.1%	
1株当たり配当	—	—	5円	

TOPICS

即席タイムズパーキングを開設する「タイムズキャラバン」の試験運用実施

当社グループは、シーズンイベント開催時などの短期的かつ一時的な駐車場需要に応えるべく、独自に開発した専用車両「タイムズキャラバン」を使い即席タイムズパーキングを開設するサービスの試験運用を進めています。

「タイムズキャラバン」には車番認証カメラ・電源・精算機等の駐車場運営に必要な設備が搭載されており、その1台で対象となる土地(空地など)をタイムズパーキング化することができます。設営および撤去は当社グループ会社で、日頃よりタイムズパーキングの管理・メンテナンス等に従事しているタイムズサービスが行い、それぞれ数時間で完了します。

試験運用としては、2024年4月～5月にかけて栃木県で開催された「益子陶器市」にて、「タイムズキャラバン」初となるカメラ式課金駐車場を運営しました。イベント期間中の需要は高く、駐車場の稼働は好調に推移しました。また事故・トラブル等もなく、イベント主催団体である益子観光協会からは「(昨年まで有人で駐車場を運営していたが)駐車場の運営が手を離れ楽になった、昨年より来場者は増えたが駐車場の混雑は減った。」と喜びの声をいただきました。

「タイムズキャラバン」は、このような試験運用により、事業としての有用性や需要の高さなどを確認した上で、早期の商品化に向けた検証を進めてまいります。



駐車場機器・管理システム等の提供を通じた地域の交通課題解決

当社グループは、これまでに蓄積した駐車場サービスの管理運営ノウハウや、機器・システム等の提供を通じた地域の交通課題解決に取り組んでいます。

2024年1月からは、株式会社日光自然博物館との取り組みを開始しました。日光自然博物館は、栃木県の指定管理者として博物館付帯の駐車場とその周辺の駐車場を管理運営しており、今回の取り組みではそれら駐車場へ当社の車番認証カメラ・精算機等の機器および予約システム・決裁基盤などのソリューションを提供しています。

日光自然博物館は当社が提供した機器・システム等を活用し、複数の駐車場を自由に出入庫できる「エリア共通1日フリーパス」や、観光バス等の大型車の事前利用登録サービス、満車空車情報のリアルタイム配信などを新たに開始しました。これらは、日光を訪れた方の周遊促進や、空き駐車場を探すうろつき走行などに起因する交通渋滞の緩和にも貢献しております。



デジタル障がい者手帳「ミライロID」を活用した障がい者優待システムを導入

当社グループは2024年4月1日より、神奈川県のみタイムズパーキングである富士見公園駐車場において、デジタル障がい者手帳「ミライロID」と連携した駐車料金障がい者優待システムを導入しました。

従来、優待の適用を受けるためには当社のコールセンターにお電話いただく必要がありましたが、今回新たに導入したシステムでは、「ミライロID」で表示したQRコードを駐車場精算機にかざすだけで、優待が適用されます。

当社グループは今後も、全てのお客様にサービスを便利にご利用いただけるよう、利便性向上に努めてまいります。

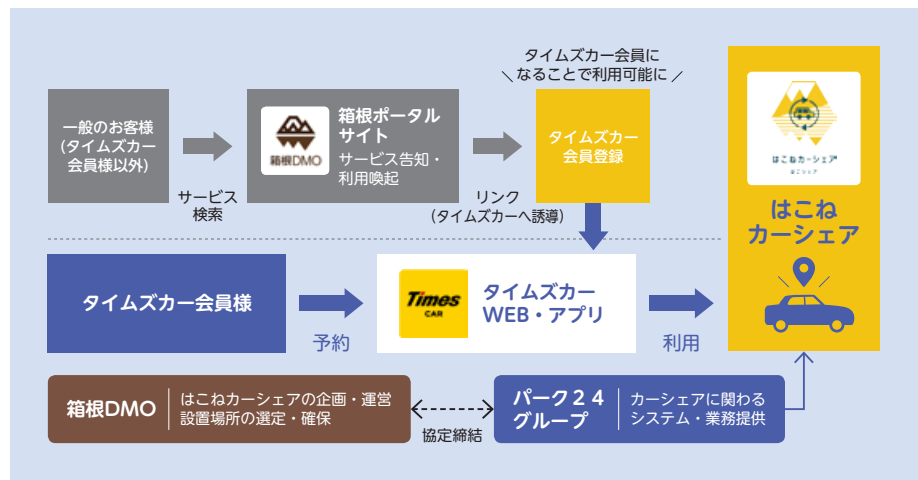
箱根町のご当地カーシェアリング「はこねカーシェア」開始

当社グループは2024年5月に、箱根町および一般財団法人箱根町観光協会(以下、「箱根DMO」)と包括連携協定を締結し、ご当地カーシェアリング「はこねカーシェア」の展開を開始しました。

「はこねカーシェア」は、タイムズカーのサービスプラットフォームを活用し、箱根DMOが主体となって運営するサービスで、箱根町における交通課題解決への貢献が期待されています(ご利用方法およびご利用料金はタイムズカーと同様、利用にあたってはタイムズカー会員への入会が必要)。

具体的には、箱根町まで鉄道を利用しその後はカーシェアを利用する「交通ICレール&カーシェア」による移動を提案することで、箱根地域への自家用車の流入量を減らし、交通渋滞の緩和を図ります。また、駅などから離れた観光スポットまでの新たな移動手段の提供により周遊を促すことで、観光需要の分散・標準化を図ってまいります。

なお箱根町・箱根DMOおよび当社グループは包括連携協定を通じ、「はこねカーシェア」のほか、駐車場の満車空車情報のリアルタイム配信や、タイムズカー会員様への箱根観光情報配信など、当社グループのリソース活用を通じた来訪者の利便性向上にも取り組んでまいります。



「道路空間を活用したEV路上カーシェアリング社会実験」に参加～大阪駅周辺にタイムズカーのEV車両を配備～

当社グループは国土交通省が2024年10月より実施する「道路空間を活用したEV路上カーシェアリング社会実験(以下、「本社会実験」)のカーシェアリング事業者に選定されました。2022年4月から2023年3月にかけて実施した東京都の路上カーシェアリングの実績に加え、鉄道会社との連携企画やEVカーシェア電源の再エネ活用などの観点で評価され、今回の採用に至りました。本社会実験は、国土交通省が道路分野における鉄道とEVカーシェアを組み合わせた移動によるCO₂排出量の削減効果・交通利便性の向上・災害時におけるEVの有効活用等を検証するため、大阪国道事務所が設置する大阪駅・福島駅周辺の国道1、2号線上のカーシェアリングステーションにタイムズカーのEV車両を配備し実施されます。

当社グループは今後も、「タイムズカー」を通じて様々な社会実験に参画するとともに、公共交通機関と連携しやすい場所へのカーシェアリング車両の配備を進め、ストレスのない移動の実現に向けて取り組んでまいります。

実験概要



実施期間	2024年10月～2025年12月末予定			
実施場所 (予定)	①大阪市北区梅田2丁目(国道2号線上り)	②大阪市福島区5丁目(国道2号線下り)	③大阪市福島区1丁目(国道2号線下り)	④大阪市福島区福島2丁目(国道2号線下り)
設置車両	EV5台(車種：サクラ)			
運営方法	ラウンドトリップ方式			

TOPICS

TIMES24 MALAYSIA SDN. BHD. 「TBL FMGS Award 2024」受賞

駐車場事業海外においては、日本国内の駐車場モデルである短期契約・小型・少額投資をベースとした各国版タイムズパーキングの開発を進めています。その中で2022年10月にサービスブランドを「SECURE PARKING」から「TIMES」へ変更したマレーシアにおいては、クアラルンプールなどの都市圏を中心に日本と同じ「TIMES」のロゴがついた駐車場が徐々に増加しています(他展開国である台湾・シンガポールも「TIMES」にて、英国においては「National Car Parks」、豪州・ニュージーランドにおいては「Secure Parking」のサービスブランドにて駐車場展開を進めています)。

この度、このような積極的な駐車場開発による事業展開が認められ、マレーシア国内の急成長企業に与えられる「TBL Fast Moving Growing Sustainable Award 2024」を受賞いたしました。

今回の受賞を通じて「TIMES」ブランドがマレーシアにて広く認知され、今後の駐車場開発の加速や、稼働の向上に繋がることを期待しています。



▲授賞式の様子

令和6年能登半島地震における災害支援

当社グループは、2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震への支援として、1月から7月までの予定で、一部の避難所においてタイムズカーの無償提供を実施しています。地震により公共交通機関等が一時運休になるなか、被災された方々の移動手段として多くの皆様にご活用いただいています。またタイムズパーキングにおいても、金沢市内にある一部の物件を無料開放しています(～2024年8月までの予定)。

これらサービスに関する支援に加え、タイムズクラブ会員様より寄付としてお寄せいただいたタイムズポイント(4,181,648円相当)、パーク24グループとして同額の4,181,648円、合計8,363,296円を日本赤十字社「令和6年能登半島地震災害義援金」へ寄付いたしました。

今後も当社グループは、交通インフラサービスを提供する企業として、災害時においても人々の移動を支えられる社会的価値の高いサービスを追求してまいります。



柔道部活動報告

当社は社会貢献活動の一環として2010年に実業団柔道部を設立し、世界で活躍できる選手の育成を図ると同時に、柔道教室などを通じた青少年の健全育成およびスポーツ文化の醸成に努めています。

2024年7月26日～8月11日に開催されるパリ2024オリンピック競技大会において、当社柔道部に所属する男子66kg級の阿部一二三選手、同73kg級の橋本壮市選手、同100kg級のウルフアロン選手、女子52kg級の阿部詩選手、同78kg超級の素根輝選手の5名が柔道日本代表に内定しています。金メダル獲得に向けて日々練習に励んでおります選手にご声援賜れますと幸いです。



健康経営優良法人2024(ホワイト500)認定

当社グループは、これまで人的資本価値の最大化に向け健康経営を推進してまいりました。この度、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する健康経営優良法人認定制度において、健康経営の取り組みが評価され、「健康経営優良法人2024(ホワイト500)」に認定されました。健康経営優良法人(大規模法人部門)としては5年連続5回目の認定ですが、その上位500法人を対象とした「ホワイト500」の認定は今回が初めてです。

当社グループは今後も、従業員が継続的に生産性高く、いきいきと仕事に打ち込める働きやすい職場環境を目指し、健康経営を推進してまいります。



アンケート集計結果

パーク24株主通信2024(2023年10月期 通期株主通信にて実施)

2024年1月に発行した株主通信のアンケートにおいて、多くのご回答をいただき、誠にありがとうございました。皆様から頂戴した貴重なご意見・ご要望は、今後の株主通信などの情報発信に活かしてまいります。

以下に、株主の皆様からいただいたご質問やご意見の一部をご紹介します。



株主様

タイムズカーにおけるEVカーシェアはどのくらいあるのか

EV充電ステーションの設置運営を検討してほしい

パーク24グループ

当社グループは、サステナビリティに関する中長期目標として「モビリティサービス車両・自社利用車両(営業車・管理メンテナンス車)は国内新規登録車両のEV比率と同等もしくは上回る新規導入車両のEV比率を目指す」および「モビリティサービスの新規導入車両はHV・EV比率を前年より高める」を掲げております。この目標のもと、タイムズカー車両に占めるHV・EV比率は年々向上しており、2024年4月末時点では34,851台、全体の54%に達しております。

駐車場におけるEV充電サービスについては、1998年より「パーク&チャージ」というサービスにて小規模に展開しています。また、2023年7月からは「パーク&チャージ」とは別に50箇所に充電器を設置し、お客様のニーズや使われ方などの知見を得るための実証実験を進めています。この実験では、会員様に限らず全ての駐車場ご利用者が充電器をご利用いただける仕様にする事で、需要の把握を進めています。また利用後にアンケートへご協力いただくことで、使い方などについて様々なデータ取得に努めています。

当社グループはこれからも利便性向上と同時に、環境負荷低減の観点でも、サービスの価値向上に努めてまいります。



株主様

環境に配慮した取り組みを教えてください

駅周辺にタイムズカーがあれば電車と合わせて使えて便利

パーク24グループ

当社グループは、鉄道各社と提携したサービス「交通ICレール&カーシェア」の展開を進めております。

「交通ICレール&カーシェア」は、鉄道とカーシェアリングを組み合わせた交通システムで、目的地の最寄駅まで鉄道を、駅から目的地までカーシェアを利用することで、タイムズカー利用料金の優待(割引・eチケット付与等)を受けられるサービスです。

お客様にとって、鉄道を活用することで渋滞を回避できることに加え、移動に係るコストを比較的安く抑えられる等のメリットがあります。また環境面においても、本来クルマで移動していた距離を鉄道にすることにより、移動全体で発生するCO₂排出量を削減できるメリットがあります。

具体的な利用シーンとしては、法人会員様の営業活動が考えられます。営業先を訪問する際、自社からクルマで移動するよりも、レール&カーシェアにて移動することで、より効率的な営業活動ができます。

当社グループは、引き続きタイムズカーのネットワークを拡大することで、移動手段の最適化およびお客様の利便性向上と、社会全体の環境負荷低減の両立を目指してまいります。

株主の皆様の声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー 46660k3n



スマートフォンからカメラ機能でQRコードを読み取り
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 ☒ koekiku@pronexus.co.jp

株主メモ／株式の状況／会社概要

株主メモ

証券コード	4666
事業年度	11月1日～翌年10月31日
定時株主総会	毎年1月下旬
基準日	期末配当 10月31日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。ただし、 事故その他やむを得ない事由により電子公告が できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

●IR情報に関するお問い合わせ先

経営企画本部 IR・サステナビリティ推進部
TEL：03-6747-8120 FAX：03-6747-8110
E-mail：ir@park24.co.jp
ホームページにもIR情報を掲載しています。
<https://www.park24.co.jp/ir/>



●株式事務に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

0120-232-711

(通話料無料／土・日・祝日を除く9：00～17：00)

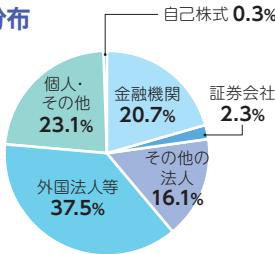
※当社株式事務に関する一般的なお問い合わせも受け付けています。

株式の状況

(2024年4月30日現在)

発行可能株式総数	283,680,000株
発行済株式の総数	171,048,369株
1単元の株式数	100株
株主数	45,962名

所有者別株式分布



大株主

氏名または名称	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社千寿	21,746	12.7
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	19,437	11.4
西川 光一	8,110	4.7
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	7,115	4.2
西川 功	6,194	3.6
BANK PICTET AND CIE(EURO PE) AG, SUCCURSALE DE LUXEMBOURG REF UCITS	4,081	2.4
日本信号株式会社	3,853	2.3
GOVERNMENT OF NORWAY	3,747	2.2
JPJPMSE LUX RE UBS AG LO NDON BRANCH EQ CO	3,224	1.9
西川 恭子	3,200	1.9

会社概要

(2024年4月30日現在)

商号	パーク24株式会社
本社所在地	〒141-8924 東京都品川区西五反田二丁目20番4号
創業	1971年8月26日
役員	代表取締役社長 西川 光一 取締役 佐々木 賢一 川上 紀文 實貴 孝夫 川崎 計介 大浦 善光(社外) 黒木 彰子(社外) 監査等委員 である取締役 山中 新吾 丹生谷 美穂(社外) 長坂 隆(社外)
資本金	32,739百万円
決算期	毎年10月31日
従業員数	5,444人(連結)
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人



地球環境にやさしいFSC認証紙と植物油インキを使用しています。

パーク24株式会社
A-03-33-2024.07-49,000-1